



丹羽光重肖像(狩野常信画) 織田信長の^{そくじょ}息女で、長重との間に長男、次男をもうけたもののともに早世。報恩院の勝気で嫉妬深い性格を案じた長重は宮松丸の誕生を隠し、家臣に預けました。その妻は於東の局と呼ばれた才女で、乳母として養育に励み、作法や文武の教育にも心血を注いだといわれています。

7歳の時、正式に丹羽家三代目の嫡子に決定。幼年期の温かい環境での体験が、のちに名君と讃えられた光重の文治政策に影響を与えています。

寛永14年(1637年)長重の死去により17歳で白河藩主を継ぎ、同20年7月二本松藩誕生に伴い、初代藩主を命じられ、安達郡一円69カ村と安積郡41カ村の都合10万700石余を統治することになりました。

まず、藩の規範となる諸制度を定めるとともに、土木・建築の諸工事を推進しました。三の丸御殿や箕輪門の造営、また、郭内を通じていた奥州道中を現在の旧4号線へ付け替えました。

二本松藩の基礎形成者 **丹羽 光重** (1621~1701)

さらに、それまで雑居状態にあった郭内を侍屋敷のみとし、市街・仏閣・神社を郭外へ移すなど、十余年を費やして城内と城下町の大規模な整備を行いました。これは、現在の市街地の原型を築いた初期整備事業といえます。

中央の文化を藩内にも広めた文化人でもありました。茶道は石州流祖・片桐貞昌に学び、「半古庵」と号し、奥義を極めた茶人として中央にその名が知られました。画は狩野益信・常信に就いて学び「玉峰」と号し、狩野派画風を会得した秀作は現在も残されています。さらに、華道や書道にも精通していたことが知られています。また、当時の二本松宗教界に大きな影響と功績を残した名僧を招請し、仏教はもとより学問の普及にも尽力しました。

このように、二本松藩始祖光重が、自らも学芸を好み、文治政策を奨励するとともに、多くの先賢・知識人を招致したことは高い評価を与えることができます。

延宝7年(1679年)4月嫡子・長次に家督を譲り悠々自適の生活を送り、元禄14年(1701年)4月11日81歳の天寿を全うし逝去。菩提所大隣寺の丹羽家墓所正面に葬られています。



二本松ふるさと人物史
二本松市ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和4年1月~11月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗	1					1	-3
空き巣							
出店荒し							-2
その他	8(2)	1		1		10(2)	3
非侵入盗	5	11(2)		1		17(2)	-20
万引き							
車上ねらい	1		1			2	-3
その他	14(5)	7(1)	3(1)	3		27(7)	11
自転車盗	2	2(2)				4(2)	
器物損壊	11(2)			1		12(2)	-4
住居侵入	2(1)	1				3(1)	2
その他	12(1)	1	2	1	2	18(1)	-10
合計	56(11)	23(5)	6(1)	7	2	94(17)	-26
前年対比	-5	-21	-3	1	2	-26	

※()は11月の発件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる
「ながら見守り」活動の
協力をお願いします。



STOP! なりすまし詐欺



地域安全ヤングボランティア「リバーパイズ」メンバー
なりすまし詐欺被害防止ポスターコンクール
優秀作品賞 安達高等学校3年 須藤鈴風さん

POLICEメールふしめ

○犯罪発生情報・防犯情報
○交通安全情報
○警察からのお知らせ
を警察から発信します。
まだ登録していない方は
是非登録をお願いします。

登録専用アドレス(QRコード、
または
pmf01@uh28.asp.cuenote.jp)
に空メールを送信してください。



二本松警察署電話 23-1212